

2024年度 メリー★ポピinz 北千住ルーム 事業報告書 (保育所における自己評価)

I. 2024年度の概要 ~年度の基本方針を受けて~

1. 生活力の体得

保育者が応答的なかかわりを意識したことで、子どもたちは遊びや生活を通し、自分の感情を安心して表現したり相手の気持ちを感じたりできるようになってきている。保育者は教えるのではなく、環境を整え背中を見せて一緒に歩く、時には子ども同士のやりとりを側で見守るような関わりをした。

2. 10の姿の体得

園会議等を通して5領域や10の姿について理解を深めていった。また、労働の必要性を知れるよう、保育者も一緒に毎日の日課(雑巾掛け、生き物の世話、畠仕事)を実践した。

3. 子ども自らがいつでも経験の選択をすることができる物的環境の設定

保育者が子どもたちの将来を見据え、月齢や発達に適した活動の計画、実施をした。

人的、物的環境を整え、子どもたちが自信や期待感をもって遊びや活動の選択ができるよう、保育者間での子どもの姿の共有を隨時行い、活かした。

4. 命をいただく活動の実践

保育室内で日常飼育する生き物(カニ、カブトムシ)の世話を子どもたちと一緒に行った。年度途中に1匹のカニが死んでしまったが、「どうしてかな」と一緒に考える機会となり、命の大切さにつなげられたように感じる。

〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	0歳から2歳児までの発達段階の理解を深める。養護と教育の一体性を意識しのびのびとした快適な園生活を図っていく。
	実践結果	園内研修を通して「生命の保持及び情緒の安定」に必要な保育内容や環境を計画、設定した。
	次年度方向性	毎月の園内研修等を通して、保育者一人ひとりの保育スキルをあげていき、保育者が一丸となって日々の保育に努める。
2	計画・ねらい	清潔で安心安全な環境を図り一人ひとりが快適に生活できるようにしていく。
	実践結果	玄関から見える位置、子どもたちの生活の場の整理整頓、環境整備の意識を常日頃から持ち、整える事ができた。
	次年度方向性	継続した意識のもと、子どもが登園したときから遊び込め、保護者も安心して預けられる室内環境を整えていく。
3	計画・ねらい	一人ひとりの成長や欲求に寄り添い安定した生活リズムの確立を図る。くつろぎ安心できる時間・空間・関わりが保障されることを大切にしていく。

		く。
実践結果	『動』と『静』のバランスを考慮し定期的な保育環境の見直しを行った。園でも家庭でも安定した生活リズムが整うよう、家庭との共有も大切にした。	
次年度方向性	日々子どもの心情・意欲・態度を受け止めながら試行錯誤しながら一人ひとりと向き合っていく。	

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	専門性を生かした保育、保護者が相談しやすい雰囲気作りに務める。
	実践結果	お迎え対応時には毎日丁寧に子どもの様子を伝えることができた。その中で、子どもの園生活や家庭での成長や発達の喜びを共感や共有した。
	次年度方向性	専門性を生かした保育、保護者が相談しやすい雰囲気作りに務める。
2	計画・ねらい	子どもの成長や発達を共に喜び保護者が安心して預けられる園にする。
	実践結果	共に子育てをしていくパートナーであることを自覚し、一人ひとりの成長や発達を捉え保護者との共有を行い、保護者が安心して子どもを預けられるよう丁寧に対応した。
	次年度方向性	自園の強み・特性を生かした園の様子や子どもの姿の記録と公開を行い、情報を発信する。
3	計画・ねらい	乳児期の食の支援を行う中で悩みや相談、専門知識を発信していく。
	実践結果	離乳食の作り方や進め方の発信、家庭での食の悩みと一緒に共有し前向に導いていけるよう各家庭との対話を大切にした。
	次年度方向性	一人ひとりにあった離乳食を提供できるよう、専門性を活かした発信をしていく。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	いつでも遊びに来られる安心した施設地域の開かれた施設を目指す。
	実践結果	地域の方たちに青空保育や戸外活動を通して挨拶をし、積極的に声かけをしたが、集客につなげることはできなかった。
	次年度方向性	園庭開放の仕組みがあること、いつでも遊びに来られる場所であるという事がわかるチラシを作成し、散歩先等で宣伝をする。
2	計画・ねらい	地域の方との関係を深める。園行事や地域行事などに積極的に参加し交流機会を図る。
	実践結果	園行事(どろんこ祭り)を通して交流機会をもつことができた。

	次年度方向性	来年度も園行事の前にはチラシの掲示や配布等で宣伝し、多くの地域の方に来てもらい交流の機会を図る。
3	計画・ねらい	地域の子育て世代の方たちが気軽に相談や施設利用に来られる園になる。
	実践結果	来園された方たちや散歩先で出会った人たちに子育てサロンや子育て相談、ちきんえっぐを宣伝し、いつでも訪ねられる施設であることを伝えていった。しかし、実際に参加していただける方はいなかった。
	次年度方向性	具体的なちきんえっぐの内容の提示や、その場で予約ができるようにし、家庭でも参加いただき、気軽に利用できる施設になるよう工夫していく。

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	自ら積極的に学びたい意欲の向上心をもち一人ひとりが高い意識で保育を行う。
	実践結果	研修に参加する日時の確保が難しく参加頻度は少なかったが、参加した保育者からの伝達講習を行うなど意欲的な姿があった。
	次年度方向性	学びたい分野を選択し、園長大学®を活用する。保育実践や保育者間でアウトプットする力を身につける。
2	計画・ねらい	日頃から報告連絡相談が密に行われる。風通しの良い同僚性や雰囲気を作る。
	実践結果	定期的なコミュニケーションや話し合いの機会を作った事で後半は時間を設けなくともスタッフ間でコミュニケーションをとる姿が増えていった。
	次年度方向性	一人ひとりが自分の保育観を表現し合えるよう風通りの良い環境を整える。

〈5〉 環境実施目標

1	計画・ねらい	畑作業の充実化を図り食の循環について興味や関心をもつ
	実践結果	農業計画にそって野菜の栽培や収穫等をすすめていった。収穫できなかつた野菜もあったが、来年度に活かす良い機会となった。
	次年度方向性	保育者も野菜についての知識をもち、畠仕事に主体的に取り組めるよう、園会議の中でミニ研修等を実施し、知識をつけていく。
2	計画・ねらい	本物の環境や様々な経験ができる環境を整えていく。
	実践結果	様々な経験を通し、体力作りや乳児期に大事な心の成長を育むことで、幼児期を見据え挑戦する意欲や立ち向かえる探求心を深めていける人間力を身に付けるために定期的な室内環境の見直し、玩具の入れ替えを実施した。
	次年度方向性	その時の子どもたちの興味関心や、発達に必要な環境が整えられるように保育者間で定期的に見直しをしていく。

〈6〉 気持ちの良い保育

1	計画・ねらい	園児一人ひとりを一人の人間と意識し接する。 正しい言葉遣いや適切な関わり方をする。
	実践結果	園会議や日々の保育を通して話し方や立ち居振舞いについて研修の実施、指導をした。 保育者同士の会話、保護者対応時に適切で丁寧な言葉遣いや所作を心掛けたが、若手の保育者は事前にどのように伝えるのかをデモンストレーションする等して理解を深めておく必要があった。
	次年度方向性	接遇に対する園内研修の実施をし、さらに理解を深め、保護者や地域の方への対応に活かしていく。
2	計画・ねらい	一人ひとりの発達状況に応じた柔軟な保育実践。
	実践結果	子どもの姿や発達について等、随時共有していくようにした。
	次年度方向性	計画の際に保育者間での相談や共有ができるよう時間の確保をする。
3	計画・ねらい	子どもの自己決定、自由な表現ができる安定した保育環境を整える。
	実践結果	保育者は子ども一人ひとりとの応答的な関わりを意識しながら関わった。 「主体的な保育」について保育者一人ひとりの思いがある為、園内研修などで理解を深め、意識の統一につなげたい。
	次年度方向性	「主体的な保育」について園内研修を実施し、理解を深め、意識の統一をする。

〈7〉 豊かな心を育てる

1	計画・ねらい	自分自身を認めてもらい安心して過ごせる園にする。
	実践結果	保育者は子ども一人ひとりとの応答的な関わりを意識しながら関わった。 子どもの姿や発達について等、随時共有していくようにした。
	次年度方向性	継続した応答的な関りと、保育者間で共有をしながら、肯定的に捉え、言葉掛けや関わりにつなげていく。
2	計画・ねらい	インクルーシブ保育の知識を深めていく。
	実践結果	誰もが自分らしく、頼り合い、ぶつかり合い、大きな家の家族として過ごせる環境づくりとして、保育者の連携や発達状況の理解を深めた。
	次年度方向性	発達についての園内研修を実施しさらに理解を深めていく。 スタッフ同士も得意を活かしながら保育をしていく。

2. 施設運営

〈1〉児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
年度前半： 4~9月	22人	30人	28人	80人
年度後半： 10~3月	30人	30人	30人	90人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						
うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						

一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	4人	7人	6人	4人	4人	3人	2人	2人	3人	1人	2人	1人	35人
うち0 歳児	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人

〈2〉開所時間

7時30分～18時30分

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	4人	栄養士	1人
パート スタッフ	保育士	3人	—	—

3. 運営報告

〈1〉施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策定会議にて実施	コンピテンシー 保育の質向上に関する勉強会 大人の学びについて 子どもの人権について勉強会
給食運営会議	月1回	離乳食状況の共有 喫食状況の共有
事故防止委員会	月1回	自園インシデント、ヒヤリハットの検証 他園事故共有
ケース会議	なし	

〈2〉出席した施設外会議（Web 参加含む）

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議	月1回	施設長
施設長勉強会	月1回	施設長
食育会議	年4回（5.8.11.2月）	施設長、調理スタッフ
保健会議	年4回（5.8.11.2月）	施設長
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

〈3〉係の設置状況

係名	活動の様子・省察
衛生管理係	園児・スタッフの健康状態の把握/保健的環境の維持の実施 毎月の身体測定の進捗確認。 清掃備品の確認や、清掃手順の見直しを実施した。
安全対策係	毎月の事故防止委員会の実施。 年4回のハザードマップの見直し、更新、共有を実施した。
畠・生き物係	種苗発注、畠の管理を実施した。

	カニの飼育を子ども達と実施した。
--	------------------

4. 保育支援

〈1〉保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	特になし
保育参加	4~3月まで 合計0名 (3月1日時点)
保護者面談および発達相談	4~3月まで 合計0名 (3月1日時点)
運営委員会	運営委員会を6月14日、11月22日にメリーグーリー★ポピングス北千住ルームにて実施し、参加した保護者4名 詳細は議事録に記載

〈2〉計画した年間行事の振り返り

- 別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	一緒に食'emailをすることによってコミュニケーションを大事にし、楽しく食事をする。
	実践結果	保育者も一緒に会話や食事を楽しみながら過ごせるよう食事環境を整えた事で、子どもたちも落ち着いて食事をするようになった。また食への興味関心が深まり、苦手な食材にも挑戦しようとする姿にもつながった。
	次年度方向性	今後も落ち着いた食事環境を作り、食に対する意欲や楽しい食事の時間となるようにしていく。
2	計画・ねらい	食生活に必要な基本的な習慣や姿勢に関心をもつ。
	実践結果	食べるときの座り方を掲示し、一緒に食事をする保育者が気付けるような言葉掛けをした事で、後半は座り方も定着していき、食べこぼしも減っていった。
	次年度方向性	座り方は定着していったので、食具の持ち方を遊びに取り入れていきたいながら、食事の時にも丁寧に見ていきたい。

3	計画・ねらい	食の循環を意識し、無駄のない食の環境づくりを考える。
	実践結果	魚の解体・コンポストなどを通し循環の機会を作ることができなかった。
	次年度方向性	北千住どろんこ保育園と連携を深め土作りから行う野菜の栽培、収穫、調理、食事の流れを身近なものとする。

〈4〉 保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	6月26日／11月27日に実施
保健だより	毎月25日におたより配信を実施
スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回（全スタッフ対象）
流行した感染症	6月に手足口病、園児5名
発作・痙攣等の対応	該当児なし
エピペン使用できるスタッフの状況	・3月21日にメリー★ポピンズ北千住ルームにてエピペン使用研修を小野寺、鈴木、安藤、指田、羽部、今村、計6名が新たに受講し習得済み ・本日時点で、在籍スタッフ8名のうち、6名が使用可能
AED 使用できるスタッフの状況（AED 設置施設のみ）	・7月13日に北千住どろんこ保育園にて普通救命講習を小野寺、指田、計2名が新たに受講し習得済み ・本日時点で、在籍スタッフ8名のうち、8名が使用可能
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、消毒・換気を徹底した

〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み

	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	フロン点検（簡易）	対象物の簡易点検4・7・10・1月の25日に計4回実施
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年2回／4・10月 ⇒4月26日、10月25日に実施済み
	身長体重測定	毎月1回／20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回／6月26日、11月27日
運営管理	児童・保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時 ⇒4月26日、10月25日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	8月25日～9月5日に実施済み

〈6〉 実施した環境整備の状況

1	計画・ねらい	北千住どろんこ保育園、つむぎ北千住ルーム、地域の方との連携を密に行う。様々な大人や友だちと関わる中であそびを知り、関係を深め、親しみをもっていく。
	実践結果	土曜日の合同保育や、定期的な交流を行い、様々な環境で様々な人や友だちと関わる機会をつくることができた。
	次年度方向性	同年代との交流だけでなく、年上の子との交流がもてるよう連携をとっていき、さらに様々な人や友だちと関わる機会をつくっていく。
2	計画・ねらい	身近な人と関わり安心して心地よく過ごしていく。
	実践結果	整理整頓の維持や継続を行い、常に誰が来ても心地よい園を意識する事ができた。
	次年度方向性	新しい保育者にも仕組みを共有し、誰が来ても心地よい園を継続していく。

3	計画・ねらい	子ども達自らが選択し主体で遊び込める環境を整える。
	実践結果	園会議等でディスカッションを重ね、環境について現状と課題を追っていった。その時の興味・動線を考慮し作り上げていった。
	次年度方向性	子どもの姿を大切に、アクションと振り返りをセットにして毎回行うことにより成果が表れるので継続的に行う。

〈7〉 手作り遊具・家具安全点検結果

該当なし

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践結果	非常災害時の対策として、毎月消防計画に基づいた避難訓練や消火訓練を実施
2	実践結果	年2回の不審者侵入訓練の実施
3	実践結果	事故防止自主点検を年4回実施
4	実践結果	毎月の事故防止委員会の中でヒヤリハットやインシデントの分析を行い、事故防止に努めた
5	実践結果	年4回、園外・園内ハザードマップと散歩マップの見直し、更新、共有の実施
6	実践結果	安全マニュアルを2か月毎に確認し、保育者との周知に努めた

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉 今年度の振り返り

実習生2名受け入れ。小規模保育園ならではの子ども一人ひとりと密に関われる丁寧な保育の良さ、発達や成長に応じて活動場所や活動内容の選定をしていくことの大切さを伝え、感じられた。

〈2〉 実習生の受入

日程	学校名	人数	実習内容
6月10～21日	東京子ども専門学校	1人	責任実習
2月10～17日	東京子ども専門学校	1人	観察実習

〈3〉 中高生の受入

今年度、受け入れなし

7. スタッフ研修

〈1〉 園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシー自己採点	26日 6名	24日 6名	28日 6名	26日 6名	23日 6名	27日 7名	25日 7名	15日 8名	20日 8名	24日 8名	14日 8名	18日 8名

〈2〉 外部研修への出席

該当なし

〈3〉 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (子育ての質を上げる会議)	17日 1名	15日 1名	27日 1名	18日 1名	22日 1名	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	16日 1名	20日 1名	21日 1名
施設長勉強会	17日 1名	15日 1名	26日 1名	17日 1名	21日 1名	18日 1名	16日 1名	20日 1名	18日 1名	15日 1名	19日 1名	19日 1名
全社員研修	12月に動画視聴にて研修を実施（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	該当なし											
デンマークインターンシップ	該当なし											

〈4〉 スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

8. 地域交流

〈1〉 今年度方針・テーマの振り返り

毎日の散歩の際に挨拶をしていった事で、店の前を通ると声を掛けてもらい、仕事の事や子どもたちが気になることを教えていただき、交流することができた。商店街ツアーや等の時だけではなく、毎日の散歩での地域の方との挨拶やちょっとしたやりとりを大切にしていきたい。

〈2〉 実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：千住旭公園にて 参加延べ人数：0名
商店街ツアーや等	週1回 主な行き先：スーパー田中、昇鈴、たから家、西口商店街、東口商店街等
世代間交流	1月31日に足立学園中学校にて学生との交流を実施
異年齢交流	月に1回北千住どろんこ保育園との定期的な交流
銭湯でお風呂の日	該当なし

9. 小学校との子ども間交流・職員間交流

〈1〉 今年度の振り返り

該当なし

〈2〉 具体的な連携

該当なし

10. 要支援児

〈1〉 個別支援計画の作成・見直しの状況

今年度、対象園児なし

〈2〉 毎月のケース会議開催の状況

今年度、対象園児

〈3〉進級引継、および小学校への引継状況

北千住どろんこ保育園と定期的に交流を行った。

II. 子育て支援事業

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名	10名	19名	55名	4名	9名	3名	9名	2名	0名	0名	0名	111名

実施項目	詳細											
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施 来園延べ人数：0名											
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 ⇒ 計15件相談実施済み											
自然食堂 親子ランチ 交流	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒ 計0回実施済み 参加者延べ人数											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
どろんこ 芸術学校	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒ 計0回実施済み 参加者延べ人数											
どろんこ 自然学校	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒ 計0回実施済み 参加者延べ人数											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00 にて実施 門扉前に無人のフリーマーケットかごを設置											
ちきんえっ ぐだより	毎月1日発行											
青空保育 (支援セン ター主催)	月1回 公園名：千住旭公園にて 以下日程にて実施											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

12. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

今年度受審なし

〈2〉園による自己評価の実施

2024年11月22日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻：14時00分
自己評価終了時刻：14時30分
自己評価実施者：小野寺、鈴木、安藤

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施
アンケート配布日：8月25日
アンケート回収率：100%

アプリでの配信についてご意見をいただいた。おたよりと、日々の様子(タイムライン)の配信をわけ、保護者様にしっかりと情報が届くように改善した。

13. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

〈1〉報告すべきご意見

報告すべきご意見 0件

〈2〉報告すべきケガ（事故含む）

報告すべきケガ（事故含む） 0件

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリー★ポピinz北千住ルーム 施設長 小野寺 千里